



# 生き方に学ぼう

KENYA

青木千穂子

鳥取県米子市立伯仙小学校

◆実践教科 総合的な学習

◆時間数 4時間

◆対象学年 5年生

◆対象人数 69名

## カリキュラム

### ■実践の目的

- ・ケニアの人々の暮らしの様子やすばらしい文化、様々な問題などを具体的に知り、児童のケニアをはじめとする諸外国への興味・関心を高めること。

### ここが素晴らしい!

4時間という短い時間を起承転結でまとめ、すっきりとした構成でした。授業実践にはいる前にイメージマップを作成させ、子どもたちにギャップを感じさせました。

- ・様々な問題を自分のものとして取り組む人の生き方を学ぶこと。
- ・異文化を認め合い、世界の人々とつながり合おうとする心情を育てること。

### ■授業の構成

時限・テーマ・ねらい	方法・内容	使用教材
事前 「ケニアのイメージマップを作ろう」 子どもたちの実態を把握する	・イメージマップ作りのためのアンケート調査をする	アンケート
1時限目 「ケニアを感じよう」 ケニア人々の暮らしの様子を知り、自分の暮らしと同じところ違うところを見つける	・地図でケニアの位置を確認する ・ケニアの様々な写真を見て、クイズに答えながらケニアの生活について考える	イメージマップ 世界地図と国旗 写真 絵はがき ワークシート①
2時限目 「カンガから学ぼう」 ケニアの民族衣装カンガの着方を通して、ケニア人の知恵に気づく	・ケニアの国旗の色のいわれを知る ・3人1組のグループを作り、国旗カラーの布を使って思い思いの着付けを考える ・伝統的な着付けを知る ・アフリカ式握手をしてグループを解散する	カンガ ジャンボジャンボCD ワークシート②
3時限目 「ケニアの問題から学ぼう」 「貧困の輪」からケニアの抱える問題を知り、自分のかかわりを考えることができる	・社会の中には貧困の輪があることを知る ・似たビーズ（イタリア産・ケニア産）を使い、作られた貧しさについて疑似体験した後、話し合う ・自分たちの生活で関わりを持てることを考える	ケニアビンゴクイズ イメージマップ 貧困の輪カード ビーズ作品 ワークシート③
4時限目 「ケニアに生きる人から学ぼう」 ケニアに生きる日本人ボランティアの方やケニアの方の思いを知り、手紙でつながっていこうとする	・「ジャンボジャンボ」の歌詞を考えて聴く ・絵本「はちどりのひとしずく」を聞く ・ケニアに生きる人々の生き方を知り、自分の生き方を考えて、手紙を書く	写真4枚 「ジャンボジャンボ」CD 「はちどりのひとしずく」 JICAボランティア募集パンフレット ワークシート

## 授業の詳細

### 1 時限目 ケニアを感じよう

事前にとったケニアのアンケートでは、半数近

くの児童がケニアと言われても何も思いつかないことが判明したので、まずはしっかりケニアについて見ていくことにした。ケニアの位置を地図で確認した後、実物投影機で写真を拡大し、所々でクイズを織り込みながら学習を進めていった。写

真は出会った人や町並み、食べ物や自然などである。その後、感想を言い合った。同じ部分もあるのだが、子どもたちは純粋に日本とあまりにも違うケニアに衝撃を受けたようである。



Q1 ケニアに動物園はありません。でもこのチーターはおりの中で生活しています。さて、ここは何の施設でしょう。



Q2 勇敢なことで知られているケニアのマサイ族ですが、マサイ族の男性の成人の儀式はなんでしょう。



Q3 この人はあることがあってとても悲しそうにしています。なぜでしょう。

## 児童の感想

ケニアは日本とちがって砂ぼくがあるけど、きれいな海があって泳ぎたいと思いました。ビーズでネックレスやブレスレットを作ったりして、すごく器用だし、かみの毛がすごくあみこんであって、びっくりしました。小学8年生までであってすごかったし、日本とちがって野生動物を間近で見られていいなと思いました。わたしも大人になったらケニアに行って、フラミンゴとか見てみたいです。

## 2 時限目 カンガから学ぼう

ケニアの国旗の意味を考えていく活動を通して、ケニアの人々の願いや誇りについて考えていった。国旗に意味があるとほとんどの児童が思っておらず、他の国への興味も広がった。その後、黒・赤・緑・白の布をカンガに見立て、3人グループで協力して着つけを考えた。伝統的な着方ではなく、あえてケニア人になりきっておしゃれな着方をするという方法で取り組んだ。子どもたちも一枚の布であっても工夫次第でいろいろな服を作ることのできる

ケニア人の知恵を感じたようである。



カンガを着てみて「はい、ポーズ！」



先生も試着してみました。「不思議な気分…。」

## 児童の感想

旗の色に意味があるなんてびっくりしました。赤が血の色というのは少しかなしい気がしました。カンガの学習については、ケニアの人はすごいなと思いました。私達は服を何まいも使っているけれど、ケニアの人は1まいで何種類もの着方ができるし、スカートにも、何にでも使えるものを使用しています。リサイクルに適しているなあとと思いました。

## 3 時限目 ケニアの問題から学ぼう

ケニアについてのこれまでのおさらいクイズをして緊張をほぐした後、ケニアのイメージマップから貧困の輪について学んだ。貧困・飢餓・栄養失調・病気・学校に行けない・技能が身につかない・失業・低収入といった貧困の輪の問題を、カードを使って図示した。また、この問題はケニアだけの問題でなく、世界中に存在する問題であることを押さえた。貧困は先進国が生み出していることも多く、フェアトレードの取り組みを取り上げ、募金やボランティアなどの活動と合わせ紹介していった。今だけでなく将来の生き方でも、持つことのできるかわり方を考えた。

## 児童の感想

・ゲームをして、ケニアとイタリアの売れた

数はイタリアの方が少ないのに、ケニアよりすごくもうかるってことがこわいなあと思ったし、ケニアの人は仕事に精をつくしてももうからないってひどいって思いました。

- ・いろいろな国でおきていること、または問題を見つけて、なんでこうなったのかをしらべてみたいしそれぞれの国での物の価値の差も調べてみたいです。それにこのケニアやいろいろな国に行き、砂ばく化している所、またはサバンナをもとのような緑にもどす活動をしていきたいです。

#### 4 時限目 ケニアに生きる人から学ぼう

まず、これまでの学習の中で何度かBGMとして使ってきた「ジャンボジャンボ」の歌詞の意味を考え、ケニアの人々が国に誇りをもち、歓迎の気持ちで歌っていることを知った。そして問題に背を向けない登場人物として「はちどりのひとしずく」を読み聞かせ、ケニアにつながる人として、日本にいて関わりをもつ人（高見さん）、ケニアに行って関わりをもつ人（多賀さん）、ケニア人として関わりをもつ人（リチャードさん）、ケニア人としてがんばる子ども（アナジャリ小学校の子どもたち）について、エピソードを交えながら紹介した。その後で自分が一番心を動かされた人への手紙を書くことにした。



ケニアに生きる人から学ぼう

#### 児童の手紙

- ・先生からリチャードさんのお話をきいて、動物を心の底から愛していること、動物を心の底から守ろうと思っているのが伝わりました。
- ・高見さんとケニアの人の仲はすごく固いきずなで結ばれているんですね。これからもケニアの家族との信頼関係を大切にしてください。わたしも高見さんのようになれるよう、努力します。

- ・自分の国が好きですか？わたしは日本が好きです。わたしも夢にむかってがんばるからみんなもがんばってください。

#### 成果と課題

私にとって、今回ケニアに行くまで物理的・心理的に遠い遠い国だったケニアであったが、本研修の様々な人との出会いや体験を通して、まず自分自身のものの見方・考え方が大きく変わったことが実感できた。自分の学級ではなく他の学年の学習だったので、時間を十分にかけることができなかった。しかし、ポイントを絞り、「これだけは考えてほしい」「これだけは伝えたい」と一時間一時間を大切に学習にすることができたと思う。その中で今回の学習の主な成果として、以下の4点を挙げる。

- ①自分にとって驚きをもった情報を発信することができた。
- ②子どもたちがケニアやアフリカ、諸外国への興味や関心をもつようになった。
- ③それぞれの国の文化や価値観を勉強する中で、善悪や順位をつけるのではなく、それぞれの文化を楽しんだり尊重したりしようとする気持ちが育ってきている。
- ④参加型を取り入れた学習で、子どもたちが人任せの学習でなく、主体的に学ぶことができた。

今後の課題として一番感じていることは、決められた時間でやっていく中で、情報が正確に伝わらないことがあるという点であった。「ケニアの一部の人が…。」と言ったのが「ケニアの人は（全員）…。」と感想に書いてあることなどが思った以上であった。担任であればその度にフォローすることができるが、4時間限定の学習ということで、フォローする時間をたくさん取ることができなかった。しゃべる言葉を厳選し、できるだけ正確に伝える必要がある。フォローが難しい分はワークシートへ書き込みをしたりしていったが、ゲストティーチャーとしてはなかなか難しいことを実感した。今後も何らかの機会を見つけてフォローしていきたい。

#### 参考資料

- ・「わたし 出会い 発見」大阪府同和教育研究協議会編
- ・「貧困の輪」
- ・[www.joca.or.jp/ob-kai/krk/hinkonwa.htm](http://www.joca.or.jp/ob-kai/krk/hinkonwa.htm)